Japanese utility model application

(11) Publication Number: H04-88365

(43) Date of issue: 31.07.1992

(51) Int.CI.

H02K 13/10 8527-5H H01R 39/24 2117-5E H02K 13/00 8527-5H

(21) Application Number: H02-401487 (71) Applicant: Sankyo-Seiki-Seisakusho corp.

- (22) Date of filing :5.12.1990 (72) Inventor: Eiji FUJISAWA (72) Inventor: Takeshi MIYASHITA
- (54) Brushing mechanism of a compact motor
- (57) Abstract:

OBJECT: To maintain stable brushing contact and reduce wearing down of commutator.

CONFIGURATION: Each contact portion 12 of brushes is formed bending in a predetermined direction so that each contact point is moving towards a predetermined direction when sliding portion 11 of the brush is begun to wear down.

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平4-88365

(43)公開日 平成4年(1992)7月31日

(51) Int.Cl. ⁵		識別記号	庁内整理番号	FI	技術表示箇所
H 0 2 K	13/10		8527 - 5H		
H01R	39/24		2117-5È		
H 0 2 K	13/00	- ପ୍	8527 - 5H		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 2 頁)

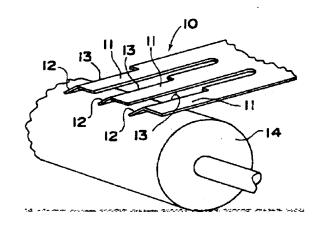
(21)出願番号	実願平2-401487	(71)出願人 000002233
		株式会社三協精機製作所
(22)出願日	平成2年(1990)12月5日	長野県諏訪郡下諏訪町5329番地
		(72)考案者 藤沢 英司
		長野県駒ケ根市赤穂14-888番地 株式会
		社三協精機製作所駒ケ根工場内
		(72)考案者 宮下 武
		長野県駒ケ根市赤穂14-888番地 株式会
		社三協精機製作所駒ケ根工場内
		(74)代理人 弁理士 石橋 佳之夫 (外1名)

(54)【考案の名称】 小型モータのブラシ摺動機構

(57)【要約】

[目的] ブラシの接触安定性を維持しつつ、整流子の 摩耗の進行低減を可能とする。

[構成] ブラシ摺動片 11 に摩耗が生じてきたときに、各プラシ接触部 12 の整流子 14 に対する接触位置が一方向に揃って移動されていくように、各プラシ接触部 12 を一方向に揃えて折り曲げ形成してなるもの。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 回転体からなる整流子に対して一対のブラシ体を接触配置してなり、これら各ブラシ体には、フォーク状に分岐するように形成されたブラシ摺動片が備えられているとともに、各ブラシ摺動片のそれぞれには、整流子側に折り曲げられて接触されるブラシ接触部が設けられてなる小型モータのブラシ摺動機構において、上記各ブラシ体におけるブラシ接触部は、当該ブラシ摺動片の長手方向片側を前記整流子に向け一方向に揃えて折り曲げ形成してなるとともに、前記対のブラシ体のプラシ体における各ブラシ接触部に対し軸方向にずらした前記整流子に接触する位置に配置されていることを特徴とする小型モータのブラシ摺動機構。

【図面の簡単な説明】

【図1】本考案の一実施例における小型モータのブラシ

摺動機構を表わした外観斜視説明図である。

【図2】本考案の一実施例における小型モータのプラシ 摺動機構を表わした側面説明図である。

【図3】整流子の摩耗状態を表わした側面説明図である。

【図4】ブラシ摺動片に対するブラシ接触部の傾斜角を表わした側面説明図である。

【図5】従来における小型モータのブラシの構造例を表わした側面説明図である。

- 10 【図6】従来におけるブラシの摩耗状態を説明した側面 説明図である。
 - 10 ブラシ
 - 11 ブラシ摺動片
 - 12 ブラシ接触部
 - 14 整流子

